

# 洗濯物から発煙・発火

～美容オイルなどが付着した洗濯物を洗濯し乾燥機を使用～

## 事故の概要

【事例①】乾燥中の衣類が燃え、乾燥機が焼けた。

【事例②】乾燥後のタオルを放置していたら、乾燥機や周辺が焼けた。

## 事故の原因

【事例①】オリーブオイルの付いた洗濯物を洗濯後に乾燥運転したため、洗濯物に残っていたオイルが酸化反応を起こして発熱し、自然発火して乾燥機を焼いたものです。

【事例②】油分の付いたタオルを洗濯後、乾燥機で乾燥させてそのまま放置していたため、タオルに残っていた油分が酸化反応を起こして発熱し、自然発火して乾燥機や周辺を焼いたものです。

酸化反応とは・美容オイル(オリーブオイル、アーモンドオイル、グレープシードオイル等)、食用油、動物油などの油は、空気に触れると酸化して熱が発生します。この熱を酸化熱といいます。酸化熱が蓄積して温度が上昇することで、自然発火に至ることがあります。

美容オイルをしみ込ませたシャツを洗濯し、乾燥機で乾かしてから取り出して放置



放置開始から2時間16分後に自然発火



そのまま放置していると、洗濯物全体に火が回った



## 事故防止のために

- ◆美容オイル(オリーブオイル、アーモンドオイル、グレープシードオイル等)、食用油、動物油等の付着したものは、乾燥機で乾かさないうでください。
- ◆乾燥機にかける場合は油を完全に除去してください。
- ◆洗った後は、必ず広げて自然乾燥してください。
- ◆油が付着したものは重ねて置かないでください。

エステ・マッサージ店で事故が多く起こっています！

過去5年間で47件の事故が発生(エステ・マッサージ店17件、家庭8件、飲食店6件、その他美容院など16件)

経済産業省商務流通グループ製品安全課製品事故対策室

TEL 03-3501-1707

URL [http://www.meti.go.jp/product\\_safety/](http://www.meti.go.jp/product_safety/)



NITE・製品安全センター製品安全調査課

TEL 06-6942-1113

URL <http://www.jiko.nite.go.jp/>

nite

リコール情報、事故情報は記載のURLでご確認いただけます。

平成24年3月16日

業界団体あて

経済産業省商務情報政策局

ヘルスケア産業課長 藤本康二

製品安全課長 矢島敬雅

オイルの付着したタオルによる衣類乾燥機の火災事故の防止について（要請）

エステティックサロン、マッサージ店等において、オイルが付着したタオル等を乾燥させたために電気・ガス衣類乾燥機や電気洗濯乾燥機から出火した火災については、消費生活用製品安全法による事故報告を受けて、経済産業省として、平成19年9月及び平成22年3月に貴団体に対して、事故の再発防止のための要請を行い、貴団体におかれては傘下会員に対する注意喚起を行っていただきました。

しかしながら、エステティックサロン、マッサージ店等において同様の原因によると思われる火災等の事故がそれ以降も引き続き発生しております。

こうした状況を踏まえ、経済産業省といたしましては、電気・ガス衣類乾燥機や電気洗濯乾燥機を安全に使用し、火災事故の未然防止を徹底するために、再度貴団体の傘下会員を通じて各店舗に向けて、別添チラシを活用しつつ下記の事項を周知して頂きたいと要請いたします。

#### 記

1. 電気・ガス衣類乾燥機、電気洗濯乾燥機の本体表示や取扱説明書には、オイル類が付着した衣類は、洗濯した後であっても乾燥させない旨の警告表示があります。製品の使用方法を守り正しく使用されますようお願いいたします。

#### 〈警告表示の例〉

- 食用油、動物系油、機械油、ドライクリーニング油、美容オイル（オリーブオイル、アーモンドオイル等）、ベンジン、シンナー、ガソリン、樹脂（セルロース系）などの付着した衣類や、ポリプロピレン繊維製の衣類は洗濯後でも絶対に乾燥機に入れて乾燥しない。

2. 植物の種子等から抽出したエステ系オイルは、不飽和脂肪酸を多く含んでおり、不飽和脂肪酸を含む油がタオル等の生地が付着した場合は、乾燥する際に酸化反応が生じやすく発熱します。乾燥後、衣類乾燥機から取り出した洗濯物

から自然発火した事故もあります。

これらのオイルが付着した衣類やタオル類は、何回か洗濯したとしても完全にオイルは除去できないため、絶対に乾燥機に入れて乾燥させないようにしてください。

以上